



Vector シェア化お助けマクロマクロ

使い方ガイド

2021/06/22 初版発行

2021/11/11 試用期間形式から、評価版形式に変更

2022/01/09 注意書きの追加

本マクロの目的	2
注意事項	2
インストール	2
実行前の準備	2
ライセンスの登録方法.....	3
旧版をお使いの方へ.....	4
ライセンスの仕組み.....	4
管理シートの説明	5
操作盤の説明	5
処理対象行の移動	6
処理対象の選択	6
コードキー/ライセンスキーの生成/反映	6
解錠/施錠.....	7
template シートの書式	7
ライセンス登録ボタンの削除/挿入	8
ThisWorkbook のマクロ記述の削除	8
「作業用」シートの削除.....	8
「マクロ」シートへのマクロ記述の更新/削除.....	8
OK/Save/Close	8
アンインストール	8

本マクロの目的

Excel VBA を Vector のシェアウェアとして登録するには、試用期間を設けたり、機能を制限した評価版を用意する必要があります。本マクロでは、機能を制限した評価版を用意する際に便利な機能を集めた。

- VBAProject の施錠/解錠機能
- VBAProject の表示公開/非公開機能
- ライセンス登録機能

注意事項

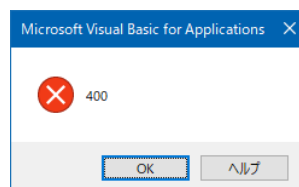
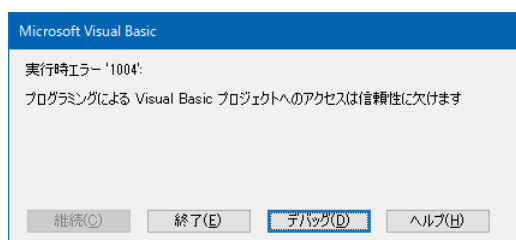
- 評価版では、ライセンスキー登録機能が使えない。
- 固定キー(テキスト)のみサポートする。
- マクロ有効ブック(.xlsm)のみサポートする。互換ファイル(.xls)は動作確認していない。
- 処理対象ブックは、マクロで Open はするが、Save&Close はしない。使用者が行なうこと。
- 原因不明で落ちることがある。こまめに Save すること。

インストール

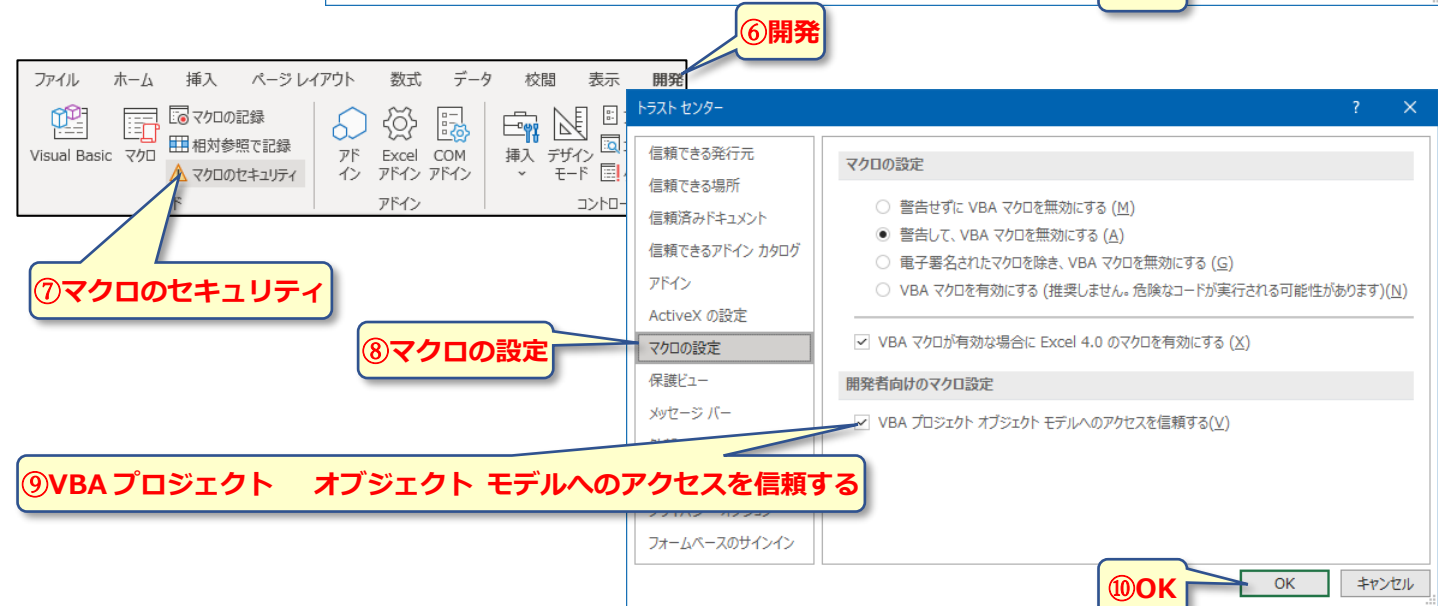
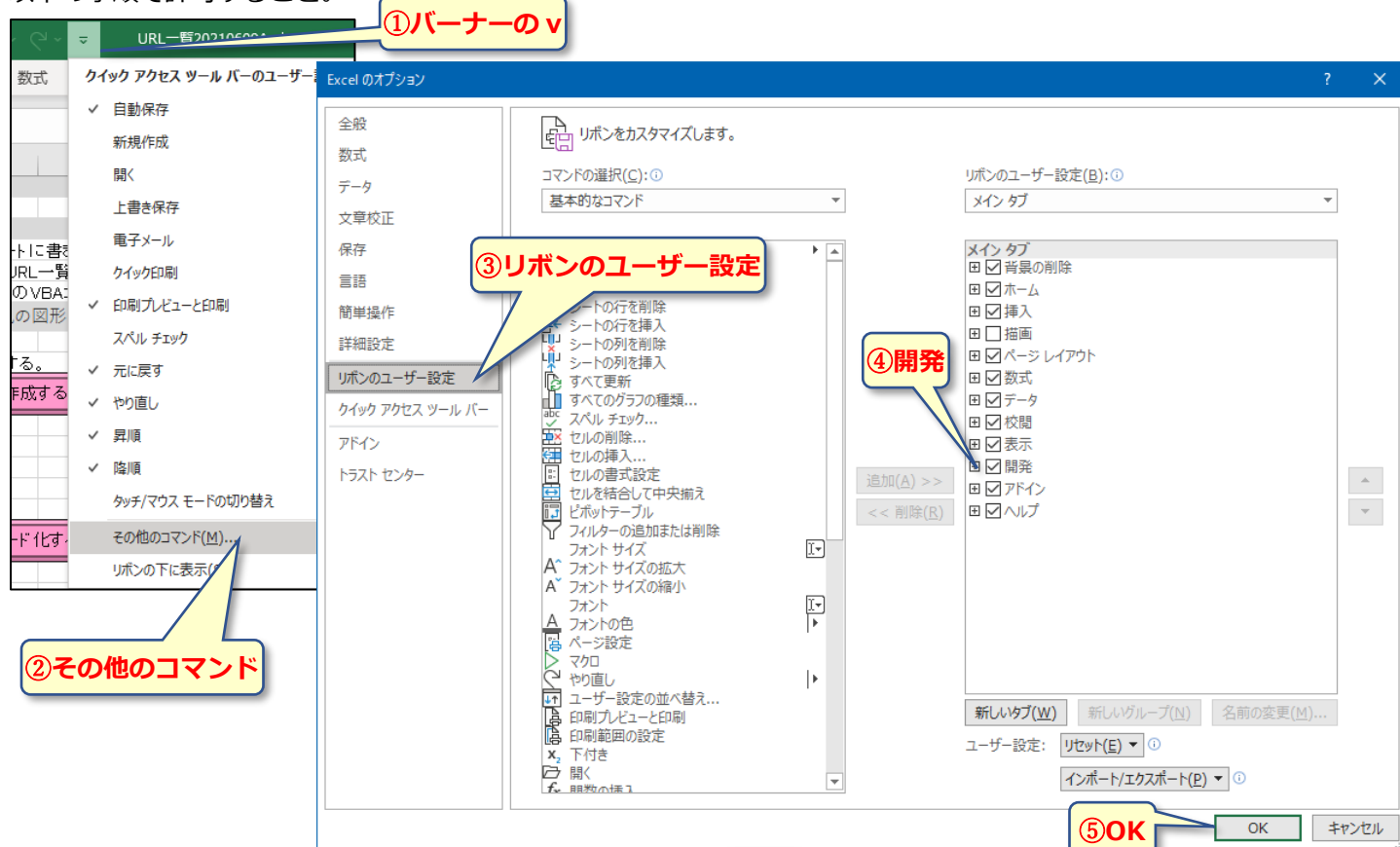
本 Excel ファイルのみ。

実行前の準備

VBAProject へのアクセスの許可が必要である。これを行なわないと、以下のどちらかのエラーが出る。

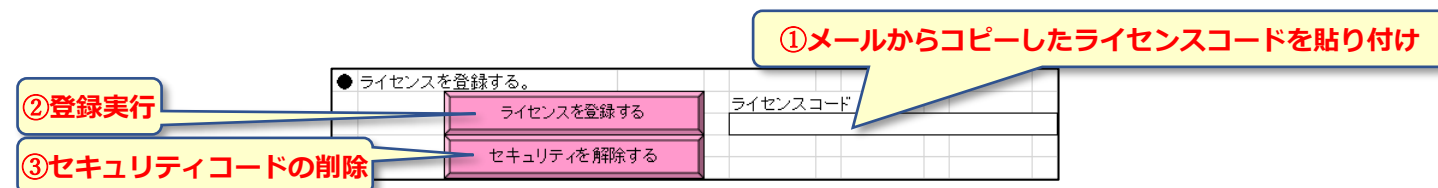


以下の手順で許可すること。



ライセンスの登録方法

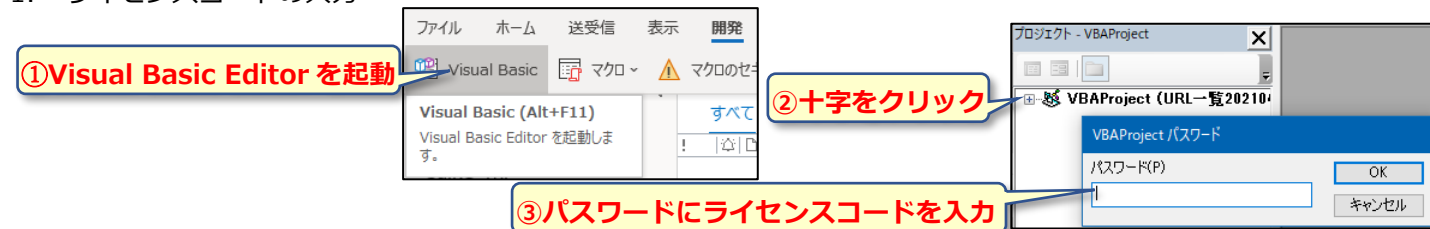
ライセンスを登録し、VBA コードを開放するには、以下の手順が必要である。



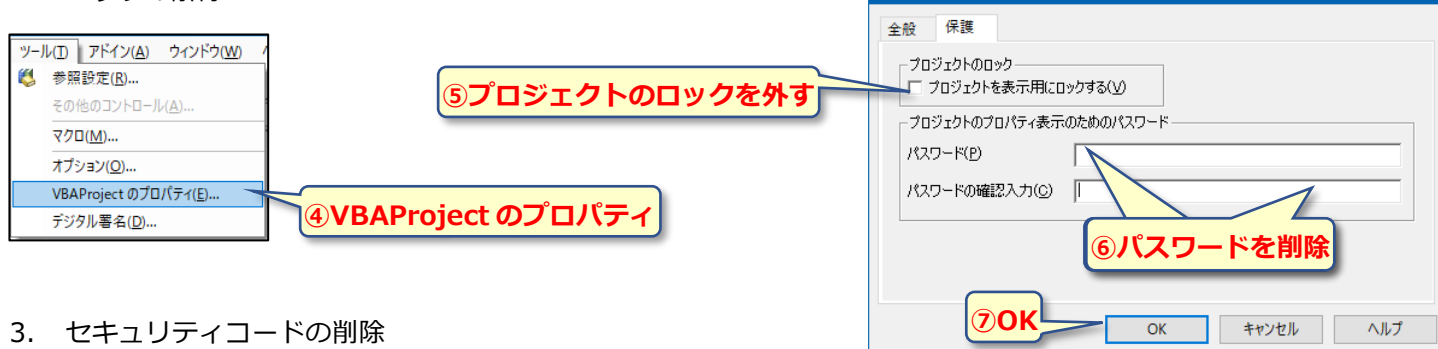
実行後、「NumLock」が外れることがある。注意すること。

自動実行が上手く動かない場合、以下の手順で手動解除する。

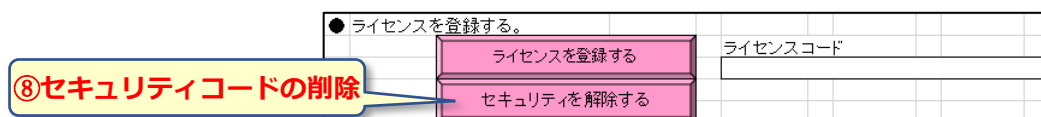
1. ライセンスコードの入力



2. ロックの解除

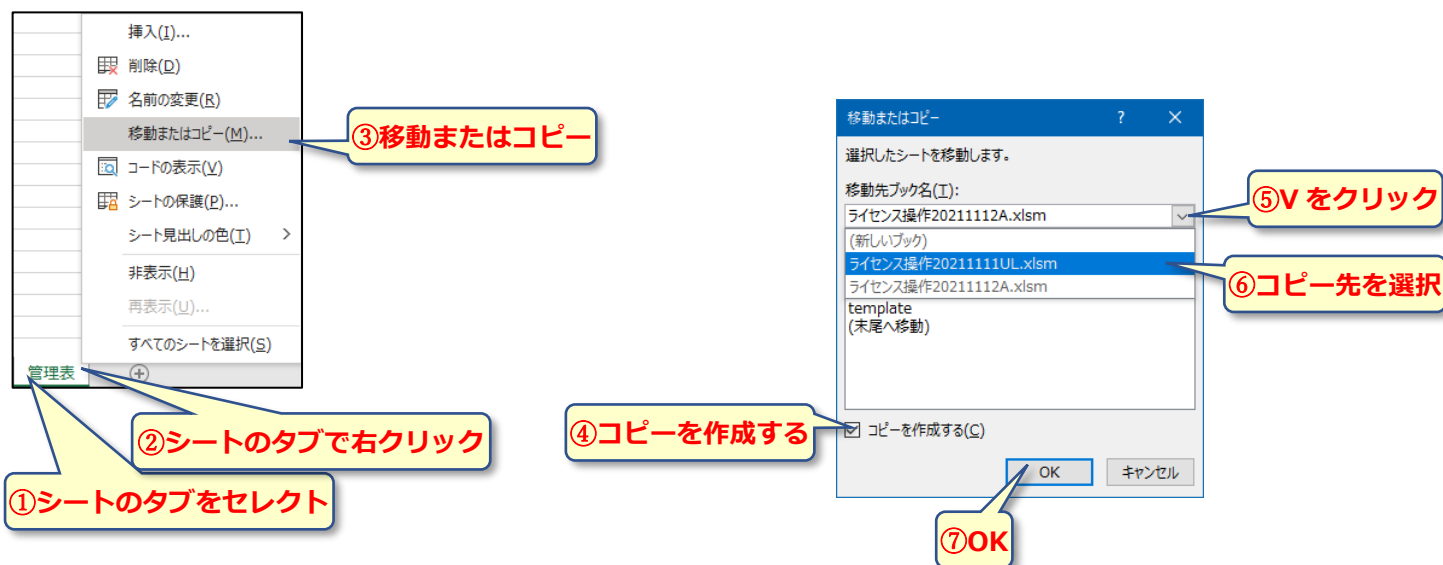


3. セキュリティコードの削除



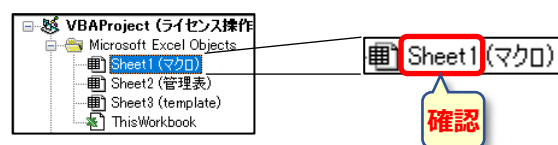
旧版をお使いの方へ

旧版のデータは、シートのコピー機能を使えば、生かすことができる。



ライセンスの仕組み

以下のようにして実現している。



- 「マクロ」シートは、処理対象のマクロ起動ボタンが置いてあるシートのことである。本マクロに関するものは、「マクロ」シートに置いている。このシートのシート名(この場合、「Sheet1」)を VBE で確認する。

- 制限を加えたいマクロで、Sheet1.IsNoLicense()を呼ぶ。戻り値は変数に入れて置くと、実行は1回で済む。尚、この関数の戻り値は、ライセンスが一致しないときに True である。
- コード公開の場合、「ライセンス」コード=「コードキー」でコード非表示の解除を行なう。また、IsNoLicense()を常に False を返すように書き換える。
- コード非公開の場合、コードの変更はできないため、常に登録ボタンの横の「ライセンス」コード記載欄に、「ライセンス」コードを記入しておく必要がある。

「ライセンス」コード、「コードキー」いずれも「**固定キー(テキスト)**」のみのサポートである。

管理シートの説明

「管理」シートである。主に、情報の保存用として使う。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
新規													
修正	path	ファイル名	錠	隠	桁数	コードキー	桁数	ライセンス	シート名	挿入	終了行	ボタン	マクロ
					10		15						

- 新規登録は、左上の「新規」ボタンを押すと、操作盤が開くので、これを使って行なう。
- 内容の修正は、各行の修正欄のボタンを押と、操作盤が開くので、これを使って行なう。
- 各行の削除/入れ替えは自由である。
- セルを直接修正しても良いが、操作盤の方が使い勝手は良い。
- コピーは可能だが、図形番号が重複してしまうため、番号の振り直しが必要である。この為のマクロを用意した。renumbShapes()で、Ctrl+Shift+R のショートカットキーを割り当ててある。

操作盤の説明

「管理」シートの左上の「新規」ボタンを押すと、出てくる操作盤である。

- 処理対象：「管理」シート上の行数。
- 移動：保存せずに処理対象を変更するボタン。
- Path/file：処理対象。
- 選択：処理対象の選択ボタン。
- コードキー：VBAProject の表示ロックキー。
- ライセンス：VBAProject の表示非公開の場合、利用。

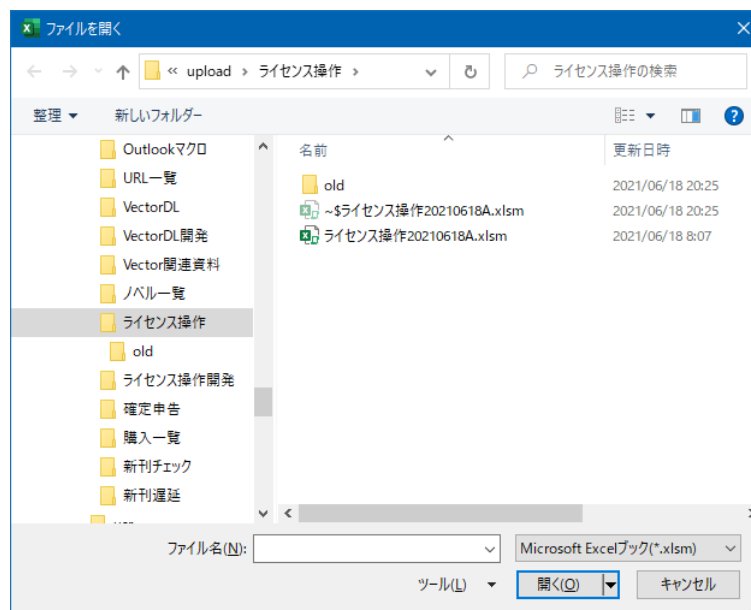
- 生成/反映：桁数に従ったランダム文字を「変更」欄に生成/反映で「既存」欄に移動する。
- 解錠/施錠：コードキーによる解錠/施錠ボタン(これ以降の処理は、解錠してないとエラーになる)。
- 施錠時 template 隠す：主に本マクロ登録用。
- ボタン挿入位置：ライセンスの登録ボタンをどのシート名の何行目以降に挿入するか指定する。
- シート名/削除/挿入：ActiveSheet の取得/ボタンの削除(開始行～終了行)/挿入(開始行)。
- template：「template」シートの更新日。
- 更新日：処理対象へのマクロ更新日。
- ThisWorkbook：旧版で使用。今版は、旧版の削除のみ。
- 作業用：旧版で使用。今版は、旧版の削除のみ。
- マクロ：処理対象へのマクロ更新/削除。
- OK/Save/Close：「管理」シートへ保存&終了/保存/何もせず終了。

処理対象行の移動

「処理対象」欄には、「管理」シート上の行数が入っている。この行数を修正し、「移動」ボタンを押すと、その行の情報が読み込まれる。但し、既存の情報は破棄される。必要により、「Save」ボタンで情報を保存してから、実施すること。更に、処理対象のブックも開かれたままである。必要により閉じること。

処理対象の選択

処理対象の「選択」ボタンを押すと表示される。通常のファイル選択と同じ操作が可能である。尚、選択対象はマクロ有効ブック(.xlsm)のみである。



コードキー/ライセンスキーの生成/反映

「コードキー」はVBAProject の表示ロックキーで、「ライセンス」キーは、VBAProject の表示非公開の場合のライセンスキーである。

- 「管理」シート上から読み込んだコードキー/ライセンスキーは、「既存」欄に表示される。
- 生成したコードキー/ライセンスキーは、「変更」欄に表示される。
- 「生成」ボタンを押すと、「桁数」に応じた大文字の英数字が生成され、5文字ごとに“-”が挿入される。
- コードキー/ライセンスキーには“-”も含めている。一々取り除く様な処理はしていない。

- 「反映」ボタンを押すと、「変更」欄から「既存」欄に内容が移動される。

「コードキー」は、施錠後は扱いに注意すること。消してしまった場合、そのブックは**破棄**することになる。

解錠/施錠

「コードキー」の解錠/施錠を行なう。以下を行なっている。

解錠：

1. 「VBAProject パスワード」に「コードキー」を入力。
2. 「VBAProject のプロパティ」の保護タブを開く。
3. 内容を全てクリア。

尚、これ以降の処理は、解錠してからでないとエラーになる。

施錠：

1. VBAProject のプロパティの保護タブを開く。
2. 「プロジェクトを表示用にロックする」にチェック。
3. 「プロジェクトのプロパティ表示のためのパスワード」に「コードキー」をセット。

施錠は、全ての作業の終了である。従って、操作盤の Save&Close も行なっている。但し、処理対象ブックの Save&Close はしていない。

施錠時 template 隠す：

主に本マクロ登録用に設けている機能である。施錠時に「template」シートを忘れずに隠すためのものである。

template シートの書式

ライセンスの登録に必要な部品は、「template」シートに用意した。書式は、以下の通りである。

マクロで呼ぶときの名前

シート名	VBAProject の表示公開	VBAProject の表示非公開
ライセンス登録ボタン	ボタン 1	ボタン 2
マクロ	マクロ 1	マクロ 2

ライセンス登録ボタンは図形だが、その他は、マクロ記述である。挿入先のマクロ記述と区別するため、行の始めに以下を入れている。

- ' Number of 'End Sub' statement = 3
- ' Number of 'End Function' statement = 2

この 2 行の後に、マクロ記述が並ぶ。削除/更新の時は、これを目当てに行なっている。

ライセンス登録ボタンの削除/挿入

削除：「ライセンスの登録ボタン」を指定のシートの指定の行から削除する。以下の処理を行なっている。

1. 処理対象ブックの指定のシートを Activate。
2. 指定の開始行～終了行を Select。
3. 削除するか MsgBox で質問。
4. OK→削除/Cancel→そのまま抜ける。

挿入：「ライセンスの登録ボタン」を指定のシートの指定の行に挿入する。以下の処理を行なっている。

1. 「template」シートから「ライセンスの登録ボタン」をコピー。
2. 処理対象ブックの指定のシートを Activate し、指定の行へペースト。
3. renumbShapes()を実行(「管理シートの説明」参照)。
4. 挿入終了行を計算し、操作盤へ反映する。

ThisWorkbook のマクロ記述の削除

旧版で挿入した ThisWorkbook のマクロ記述を削除する。

「作業用」シートの削除

旧版で挿入した「作業用」シートを削除する。

「マクロ」シートへのマクロ記述の更新/削除

「マクロ」シートのマクロ記述を更新/削除する。更新は、以下の処理を行なっている。

1. マクロ記述の削除。
2. マクロ記述の追加。
3. 「ライセンスの登録ボタン」へ「マクロの登録」。

Option Explicit が消えてしまう場合、手動で削除し、2.を再実行すること。

OK/Save/Close

Save：操作盤の内容を「管理」シートへ保存。処理対象ブックは Save&Close しない。

OK：Save&Close。処理対象ブックは Save&Close しない。

Close：何もせずに終了。

アンインストール

本 Excel ファイルの削除のみ。